



広島大学



ウィーン大学との学術交流会

主催：基盤研究B「教科教育学のパラダイムと社会的責任の国際比較
ー社会科教育研究者が果たす役割とはー」

後援：広島大学大学院教育学研究科 社会認識教育学講座

2017年3月28日(火) 10時-12時 於：教育学研究科第2会議室

テーマ：各科教授学と教科教育学

- 基調講演：Dr. Alois Ecker (ウィーン大学)

ウィーン大学における各科教授学の統合・連携の試み

- 話題提供：池野 範男 先生 (広島大学)

日本及び広島大学における教科教育学の歴史と構造



Dr. Alois Eckerの略歴

ウィーン大学歴史文化科学部の歴史・社会-公民教授学
学科長。社会史と歴史教授法の教授。オーストリア
歴史教授学協会初代会長。1994年より欧州評議会
(Council of Europe) の歴史教育ネットワークに参画
し、東欧、南東欧、ロシア、ウクライナ、キプロス
各国の歴史教育改革に関わる。'Civic and History
Education Study (CHE-Study)' のコーディネータを務め、
欧州33か国の歴史・公民領域の教師教育の比較研究
を実施する。

研究上の関心は、歴史教授学の理論と研究。とくに
プロセス志向の教授学習の方法論、コンピテンシー
志向の教育、多文化間・文化間の学習、歴史教授に
おけるメディアリテラシー、歴史教育の計画、観
察・分析など。ロンドン大学IOE、オックスフォード
大学のリサーチフェロー、メキシコ国立自治大学、
華東師範大学の客員教授。European Studies in History
Didacticsの編集長、Historical Encounters, A Journal of
Historical Consciousnessなどの編集委員を歴任。

2017年3月29日(水) 10時-12時 於：教育学研究科第2会議室

テーマ：各科教授学と教師教育

- 基調講演：Dr. Alois Ecker (ウィーン大学)

ヨーロッパにおける歴史教師教育の制度とカリキュラム

- 話題提供：大坂 遊 先生 (広島大学博士課程後期 修了生)

日本及び広島大学の社会科教師教育の制度とカリキュラム

14時～16時30分には大学院生との交流会を実施します。あわせてご参加ください。

参加申込：当日参加可。準備の都合上、事前の申し込みをお願いします。

問合わせ：教育学研究科 社会認識教育学講座

草原和博 kusahara@hiroshima-u.ac.jp 082-424-6800